



ファミサポ通信

第1号
発行 2016.3

発行：DD ユニットファミリーサポート

【受託】NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロ

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室
TEL: 03-5803-4173 FAX: 03-5803-0412
e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

【DDユニットファミリーサポート】活動開始にあたり



DDユニット事業推進室

室長 ひらい のぶひで
平井 伸英
(東京医科歯科大学准教授)

DDユニット事業推進室室長の平井伸英です。東京医科歯科大学の学生・女性支援センター長として女性支援の仕事に携わるようになって二年になります。当センターでは女性研究者支援を中心に、多くの男女共同参画に関する事業を行ってきました。育児支援や研究支援員配備といった、家庭と仕事を両立するための支援は大変重要であり、女性が仕事を続けるための重要なサポートになっていると感じています。しかし一方でその支援が、現在の女性の家庭での役割を固定化してしまう懸念もあります。男女が家庭での役割や働き方を柔軟に選択できるようになり、性別のためにキャリアを制限されることがない社会を実現するためには、大学内での支援を充実させるだけでは難しく、私たちが地域とつながっていくことが必要だと感じています。

DDユニットは、医学系研究者を抱える東京医科歯科大学と、順天堂大学、株式会社ニッピバイオマトリックス研究所の三つの機関が共同で運営する事業体で、文部科学省科学技術人材育成費補助事業として女性研究者支援を行います。その中でも、ファミリーサポート事業は、地域の人々の子育ての力を借りるとともに、医学系研究機関としての専門性を地域に還元することを目指したものです。文京区にある三つの機関が手を取り合い、さらに地域と一体となって新しい日本の未来を創っていかせたいと願っています。

子どもを真ん中に、子育ての応援団になっていきます



NPO法人 子育て
ネットワーク・ピッコロ

代表理事 おまた
小俣 みどり

子どもが生まれ、育っていく過程にはさまざまな人との関係・環境との関わりがあります。その関わりは子どもにとって大切な体験になります。私たちは、子どもとの出会いを大切し、子ども達が安心して育ち、子育てしやすい社会を目指して活動しています。

当団体は、東京都清瀬市を拠点に子育て中の親子と子育て経験者の声から発足し、住民参加型子育て支援を実施しています。その支援は、預かる理由を問わない24時間対応の訪問保育サービスを中心とし、自治体のファミリー・サポート・センター事業、女子医大・東京医大連携ファミリーサポート事業、つどいの広場事業、ホームスタート事業、ワンコイン500円/hで預かるピッコロルームの運営等、子育て家庭のニーズに寄り添った様々な支援を展開してきて19年目を迎えています。

この度、DDユニットファミリーサポートの事業運営を受託し実施させていただくことになり、光栄に思っております。当団体の培ってきたノウハウを最大限に活かし、女性研究者の方々が、育児と仕事を両立させ輝いていくために応援していきたいと思っています。預ける側の保護者の立場・預けられる子どもの立場・預かる側の提供会員の立場それぞれを大切にして、支援を調整するアドバイザーと共に安全・安心できるサポートをみなさんと共に実施していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

DDユニットファミリーサポート提供会員第1期生が誕生しました



修了式にて 第1期生の皆さんと事務局メンバー

【保育サービス講習会】

(平成28年2月10日～3月4日までの7日間(全30時間)が行われました。受講を修了した12名の方が、提供会員第1期生として登録され、第一歩を踏み出されます。

安全に保育援助を行うために必要な知識や心構えをこの講座を通して学びました。

<講師紹介>



小侯 みどり 氏

「保育の心」、「子どもの暮らしとケア」
「事故と安全」、「保育サービスを提供するために」



大森 靖枝 氏
「子どもの遊び」



湯汲 英史 氏

「心の発達と保育者の関わり」、「障がいのある子の預かりについて」



森丘 千夏子 氏

「身体の発達と病気」



吉野 純 氏

「小児科看護の基礎知識」



吉田 朋子氏

「子どもの栄養と食生活」



わくわく保育園見学風景



子どもの遊び

「大森先生のお話時間に時間を忘れる程、引き込まれました。さすが劇団の方だなと感心しました。」
「遊んでコミュニケーション(交流)なんだと実感しました。」



自作の紙笛発表会

普通救命講習（本郷消防署にて）



成人と赤ちゃんの人形を使い、心肺蘇生術や AED を使った除細動トレーニングを行いました。

1分に100回のペースで30回の胸骨圧迫は、かなりの重労働でした。講習後、参加者から、「もしも、このような場面に出会ったら、怖がることなく力を貸したいという気持ちになった」との感想が出ました。



事故と安全

グループワークを通じ、事故防止、安全な保育について積極的に意見交換をしました。提供会員として活動されている先輩会員さんからのお話は大変参考になりました。



子どもの暮らしとケア



赤ちゃんのお人形を使った実習 「この紙オムツかわいいい！」「あらー！赤ちゃんてこんなに重かったかしら？」と あちらこちらで盛り上がりました。

<受講者アンケートより>

- 小児科の先生から、専門的なお話を詳しく伺うことができとても勉強になりました。
- サポートをするにあたって、子どもの病気がとても気になっていたの、疑問点を詳しく説明していただいたことであわせて対応できると思いました。ありがとうございました。
- 子どもを取り巻く環境の違いや個々の発達の違いで、接し方も違ってくるので、参考になりました。子どもが何故問題行動を起こすのか、理由があることを考え理解して保育することが大切だと思いました。
- 皆さんと危険な場所や事故防止についてのお話ができ、安全に保育するための確認が出来たことがとてもよかったです。「事故は起こるもの」→「でも防ぐこともできる」ことを念頭に置いて保育していきたいです。とにかくお預かりしたお子さんを、元気なままの姿でお返し出来るが一番大切だと思いました。
- 事故・怪我・病気・ヒヤリハットなど注意してもし足りないと思われるが、無事故を目指したい。
- 子育て中の私にとって食育は困難で、大変なことでしたが、講習後は楽しいことと思うことが出来そうです。
- 傾聴のむずかしさがわかったので、日常的に意識して行こうと思います。



DDユニットファミリーサポートのご案内

〒113-8510 文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学 学生支援・保健管理機構

DDユニット事業推進室 e-mail: family-support.ddu@tmd.ac.jp

事務局 受付時間 月～金 9:00～17:00

TEL: 03-5803-4173 FAX: 03-5803-0412 (終日受付)

<お願い>

外出中・休日・時間外は留守番電話になっていますので、メッセージを残してください。
特に援助依頼した場合は、留守番電話で構いませんので必ず事前の報告をお願いします。



DDユニットファミリーサポート
東京医科歯科大学 5号館 3F 学生支援・保健管理機構 DDユニット事業推進室
Tel: 03-5803-4173 Fax: 03-5803-0412
お気軽にお越しください。

<4月以降の活動のお知らせ>

第2回 DDユニットファミリーサポート
【保育サービス講習会】開催決定。7月5日
スタート！お知り合いの方への参加の呼び
掛けにご協力ください。



会員合計	21名
依頼会員	9名
提供会員	12名

2016年3月末日現在

活動開始にあたってのご挨拶



子どもの頃、幼い従妹がしばらく家に泊まることがありました。私達は理由がわからず大喜びでしたが、母親のお産の為に我が家に預けられたのです。人の出入りの多い家に、小さい子どもをもう一人預かることは、私の母にとっては大変だったと思います。早く引き受け面倒を見ていたことが今になればわかります。

皆さんも昔のこと、ちょっと思い出してみてください。

子ども時代の幸せで楽しかった時間は、周りの大人達が工夫し、手間を少しかけて、実際に行動し、出来上がっていたのだと改めて気づかされます。

いよいよ私達の番がやってきました。

子育てと仕事に奮闘している女性研究者の皆さんを、私達で応援してみませんか？
子ども達が安心して笑顔で毎日過ごせるよう、みんなで見守りませんか？

会員の皆様が安心してDDユニットファミリーサポートの活動を行えるよう、事務局は全力でサポートして参ります。新しくスタートしたこの良き活動の輪が広がりますよう、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

DDユニットファミリーサポートアドバイザー 山下 茂子